

和服きりり、自民30代トリオ決意新たに

記者席ノート

◇：第190通常国会の召集に合わせ、衆参両院の和装振興議員連盟(会長・伊吹文明衆院議員)の会員が4日、和服で開会式と本会議に臨み、春のような陽気の中、決意を新たにした。

県関係で和服を着用したのは鈴木憲和衆院議員(県2区)・加藤鮎子衆院議員(県3区)・大沼穂穂参院議員(山形選挙区)の「自民党30代トリオ」の3人。天皇陛下をお迎えした開会式の後、国会議事堂の正面玄関で同議員連盟の記念撮影に納まった。

米沢織の羽織はかまに身を包んだ鈴木氏は「地に足を着け、地元の皆さんの気持ちになつて頑張りたい」と決意。ともに新春らしい訪問着姿の加藤氏は「昨年は地固めの一年だった。前に一歩を踏み出す年にしたい」、大沼氏は「経済成長を推進し、夏の参院選で自民が勝利することを目指す」と力強く抱負を述べた。

